

## 北九州空港将来ビジョンについて

### 1 趣旨

東九州自動車道の全線開通も予定されており、物流機能の集積など、本市の物流ポテンシャルの更なる向上が期待されている。このチャンスを活かし、北九州空港の更なる発展のために、貨物拠点化に向けた将来ビジョン、及びこれに至る工程と戦略をとりまとめる。

### 2 検討の経緯

- ・ 将来ビジョンの策定にあたっては、航空や空港に関する専門的なノウハウが必要であるため、有識者による検討会の運営を含め、業務委託により実施。
- ・ 今後の北九州空港の更なる発展のため、貨物だけでなく旅客便やアクセスも含め、様々な観点から将来ビジョンを検討。

### 3 北九州空港将来ビジョン（案）

- ・ 将来像と戦略 資料1
- ・ 戦略の工程 資料2
- ・ 空港と地域の相互発展 資料3

### 4 シンポジウムの開催

航空会社、航空物流関係者、関係省庁や団体、市民等の皆様に、北九州空港の将来ビジョンについてお示しするとともに、一緒に考えていただく機会とするため、シンポジウムを開催する。

- ・ 日 時：平成26年12月19日（金）15時～17時
- ・ 会 場：北九州国際会議場 メインホール
- ・ プログラム：基調講演「空港とさらなる地域活性化」

日本大学経済学部教授 加藤 一誠氏

報告「北九州空港の将来ビジョン」

北九州市長 北橋 健治

パネルディスカッション「北九州の未来は空港から」

コーディネーター 日本大学経済学部教授 加藤 一誠氏

パネリスト 関西大学商学部教授 飴野 仁子氏

関西外国語大学外国語学部教授 引頭 雄一氏

北九州商工会議所専務理事 羽田野 隆士氏

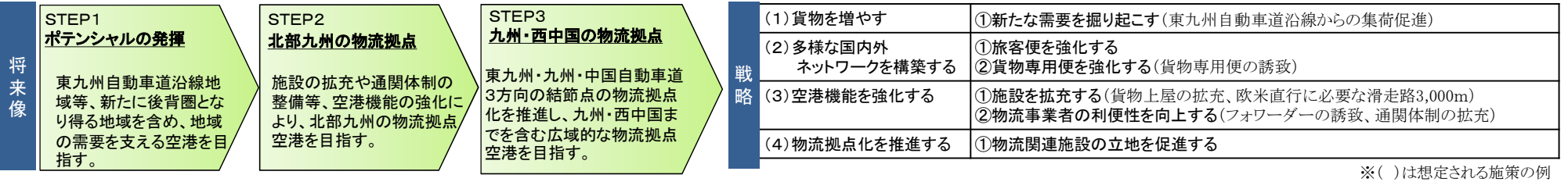
公益財団法人アジア成長研究所所長 八田 達夫氏

北九州市長 北橋 健治

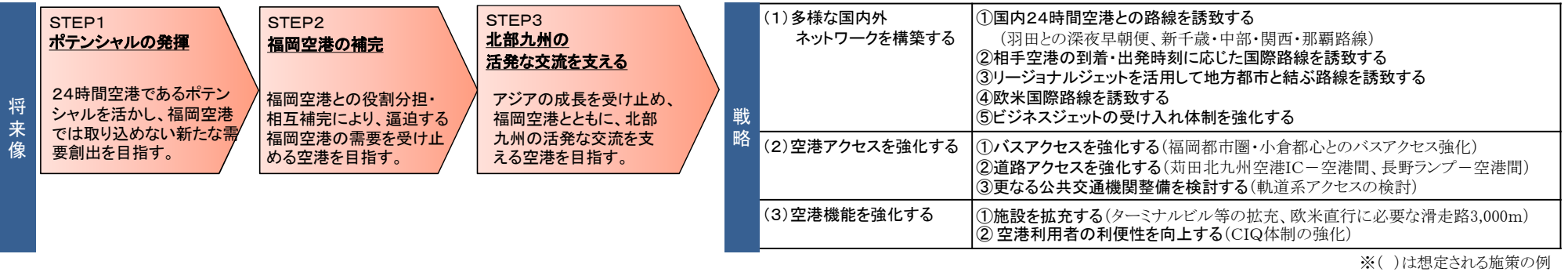
# 北九州空港将来ビジョン（案） ～将来像と戦略～

「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」の考え方を基本とし、北九州空港の24時間空港のポテンシャルと、後背圏のものづくりの集積を活かし、物流・交流・産業に関する3つの将来像を実現することにより、空港及び周辺地域が相互に発展する好循環を目指す。

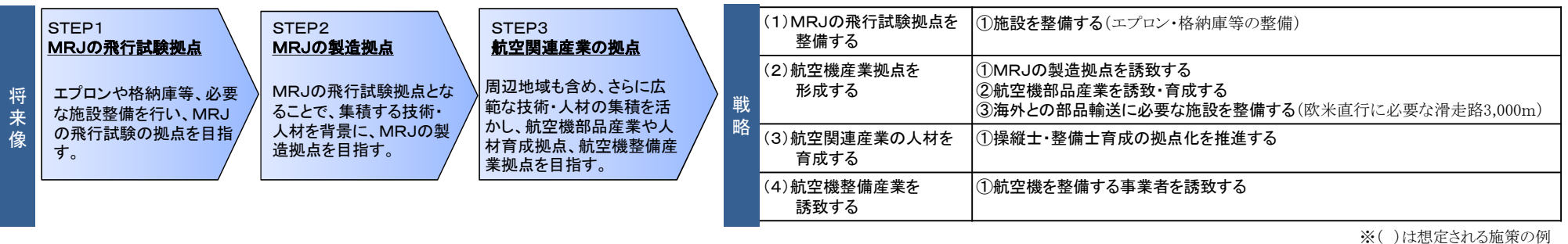
## 将来像1：九州・西中国の物流拠点空港【物流】



## 将来像2：北部九州の活発な交流を支える空港【交流】



## 将来像3：航空関連産業の拠点空港【産業】





# 北九州空港将来ビジョン（案） ～空港と地域の相互発展～

3つの将来像の実現により、空港島の抜群のロケーションを活かした「更なる賑わいを創出」することで、空港島を「非日常」の空間から「日常」の空間へ、リノベーションする。これにより、空港島を核とした新たな人・モノの交流が生まれ、空港及び地域が相互に好循環しながら、地域全体の魅力向上を実現する。

